

ときめく、ひろがる、みんなのワクワク!

県広報とやま



令和6年度県予算 「震災を超えて、 こどもまんなか社会へ。」

2024
4
April
NO.510
令和6年3月31日発行



令和6年度の予算総額は約6,127億円、能登半島地震等への対応を含めた16か月予算では約6,686億円となり、前年度同規模となりました。

県民の暮らしを守るため、震災からの復旧・復興に最優先で取り組みます。

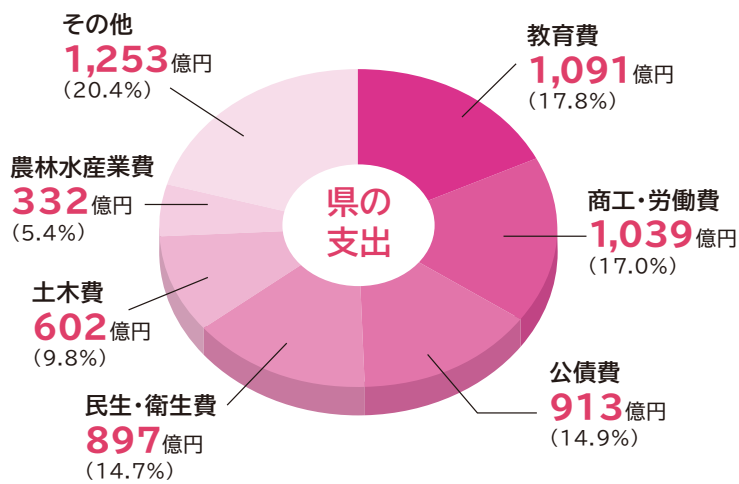
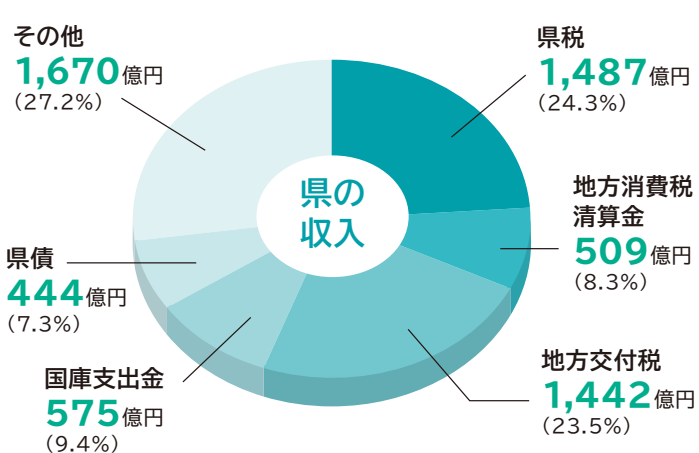
また、成長戦略に基づく取組みを着実に進め、未来へ向けた「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築に向け、子育て環境の充実、女性活躍の推進、公共交通への投資・参画、新産業の創出、DXやカーボンニュートラルの推進、関係人口の創出・拡大などに取り組み、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現を目指します。

今後とも、若者からお年寄りまで希望に満ちた笑顔があふれる富山県、ワクワクすることがたくさんある富山県、チャンスがあり夢を叶えることができる富山県の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

令和6年度富山県一般会計予算

予算総額：約**6,127億円**※

※令和5年度11月補正予算(追加提案)、1月補正予算(専決処分)、2月補正予算(専決処分)、2月補正予算(冒頭提案分:2月定例議会に令和6年度当初予算と合わせて提案した分)を含めると約6,686億円
なお、このほか、令和5年度2月補正予算(追加提案)及び令和6年度補正予算を追加計上しています。



予算用語解説

地方消費税清算金

管内の事業者から各都道府県に一旦納められた地方消費税を、最終的に消費が行われた都道府県の税収となるよう、都道府県間でお互いに清算するお金

地方交付税

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるように国が地方に代わって徴収し、一定の合理的な基準によって再配分されるお金

国庫支出金

使い道を決めて、国から支払われるお金

4つのポイント

1

震災からの復旧・復興

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に最優先で取り組みます。「県民目線」「現場主義」に立ち、被災者の皆さまの生活と生業(なりわい)の再建、今後の防災・減災対策に取り組めます。

2

「未来づくり」への積極投資

「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現を目指し、未来へ向けた「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築に向けた取組みを重点的に進めます。

3

ウェルビーイング向上効果を意識

すべての部門でウェルビーイング向上効果を意識した施策検討を行いました。さらに、県独自のウェルビーイング指標を活用した課題解決に向けて、所管部局にとられないテーマの事業パッケージを企画・立案しました。

4

既存事業の抜本的な見直し

長年続いている事業について、県民の皆さんや事業者等の声、デジタル技術の進展などを踏まえて、統廃合を含め、抜本の見直しを行いました。

令和6年能登半島地震からの復旧・復興



災害復旧対策、生業の再建など

- **公共インフラの災害復旧** (計159億3,647万円)
土木公共施設、農地農業用施設、漁港、県有施設等の災害復旧工事
- **なりわい再建支援事業** (45億5,000万円)
被災した中小企業が行う施設・設備復旧等に必要な経費を支援
- **農業・漁業・木材加工流通施設等の復旧支援** (6億9,214万円)
被災した農業用施設等の復旧費用を支援
- **北陸・とやま応援事業** (13億9,800万円)
国・北陸四県の協力による旅行割引や県独自のクーポン配布を実施



被災者の生活の再建、防災・減災対策

- **安全・安心とやまの住まい耐震化等促進事業** (13億4,690万円)
耐震診断や耐震改修工事に加え、液状化した地盤の改良等を支援
- **富山県被災者生活再建支援事業費補助金** (4億500万円)
国の支援制度の対象外となる半壊世帯に対し県独自に支援
- **令和6年能登半島地震の災害対応検証事業** (3,500万円)
人流データを活用した住民の避難行動の分析や県の応急対応の検証
- **地域防災力向上支援事業** (3,000万円)
自主防災組織による地域防災力向上の取組みへの支援を拡充

※令和5年度1月補正予算、2月補正予算及び令和6年度補正予算を含む



災害対策本部員会議



ウェルビーイング指標を 活用した課題解決

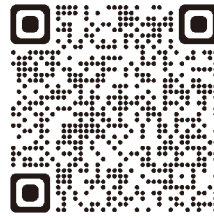
※ウェルビーイング: 経済的な豊かさに加えて、身体的、精神的、また社会的に良好な状態にあること

指標を活用し作成した、4つのグループ・23テーマの施策設計図(県民のウェルビーイング向上を意識した事業の整理)に基づき、パッケージとして新たに企画・立案した事業を実施

- ① “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング……6テーマ
- ② “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング……6テーマ
- ③ “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり……4テーマ
- ④ ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展……7テーマ

8つの重点政策

主な事業のみをご紹介します。



詳細は県HPをご覧ください。

令和6年度富山県予算

◎問合せ先 県財政課
TEL.076-444-3167

※一部の事業は補正予算による計上を含みます

未来に向けた「人づくり」



少子化対策、女性活躍の推進、こどもまんなか社会の実現

少子化対策、女性活躍の推進

■ とやまマリッジサポートセンター運営事業 (2,930万円)

婚活サポーターの活動の奨励や20代までの登録を無料化

■ 男性の育児休業取得緊急促進事業 (5,190万円)

中小企業における男性の育児休業取得者及び事業主に奨励金を支給

■ 「中高生×富山で働く女性」交流促進事業 (350万円)

中高生が県内での就職を視野に入れたキャリアデザインを考える機会づくり

困難を抱えるこどもへの支援等

■ フリースクール等通所児童生徒支援事業 (1,197万円)

不登校児童生徒の選択肢を増やすため、フリースクール等の利用料を支援

■ ヤングケアラー支援対策事業 (1,150万円)

家庭へのヘルパー派遣など、総合的な支援体制を構築

■ 子育て支援ポイント制度事業 (2億2,370万円)

「子育て応援券」を拡充し、1歳半時に3万円分の地域通貨ポイントを付与

■ 保育料軽減事業 (1億9,300万円)

県下全域で第3子以降の保育料を完全無償化



子育て支援

■ 私立高等学校の授業料等減免の拡充 (3億1,022万円)

年収910万円未満の多子世帯・ひとり親世帯の教育費負担の軽減

■ 産前産後ヘルパー派遣事業 (600万円)

つわりなど産前もヘルパーの派遣対象に追加し、利便性を向上

■ 新川こども施設の整備・運営 (51億9,152万円) R6~③(債務負担行為の設定含む)

施設の設計や工事、開業後の運営を含むPFI事業を実施



教育の充実など人材育成の推進

■ 学力向上推進教員配置事業 1億8,251万円

教育の質の向上や教員の働き方改革の推進のため、専科指導と少人数指導を行う教員を小学校に配置

■ 県立学校DX加速化推進事業 6,300万円

教育の充実や文理横断的で探究的な学び等を推進するため、県立学校にICT機器等を整備



■ 夜間中学に関する調査検討事業 110万円

学び直しを支援するため、中学校夜間学級設置の需要調査や検討会を実施

■ 魅力と活力ある県立高校整備等検討事業 620万円

県立高校の再編に関する基本的な方針や、新たな学科・コースの設置等について議論・検討

■ 県立大学情報工学部整備事業 12億979万円

情報工学部の令和6年4月の開設に伴い、新棟を整備



健康寿命の延伸、医療・介護の人材確保

■ PFSを活用した特定保健指導実施率向上に向けたスキームの構築 950万円

市町村と連携しPFS(成果連動型民間委託)を活用した事業スキームを構築

■ ICTを活用した脳卒中等医療情報ネットワーク整備事業 8,100万円

医療提供体制を強化するため、医療情報共有ツールの導入を支援

■ 地域医療再生修学資金貸与事業 3,960万円

医学生向けの修学資金制度の対象を県外出身者に拡充、貸与額を増額

■ 「くすりの富山」薬剤師確保対策事業 1,100万円

公的病院等での短期インターンシップや中高生向けに薬学の魅力PRを実施

■ 介護事業所インターンシップ事業 170万円

高校生の介護の仕事への関心を高めるため、新たに有償インターンシップを実施



「新しい社会経済システム」の構築



産業・経済の活性化

- **新たな成長産業の創出** (1,600万円)
サーキュラーエコノミー※の取組みを推進するため、異業種連携によるカンファレンスを開催
※サーキュラーエコノミー:限られた資源の投入や消費を抑え、有効活用しながら、付加価値を生み出す循環型経済
- **物流効率化支援事業** (2,150万円)
荷主事業者等による物流生産性の向上や女性活躍環境の整備などを支援
- **中小企業トランスフォーメーション補助金** (5億円)
県内事業者のデジタル化などを通じた生産性向上の取組みを支援
- **とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業** (6,100万円)
県内のスタートアップや、起業家をサポートする県内企業の取組みを支援
- **官民連携推進・強化事業** (100万円)
行政課題解決に向けた提案を広く募集し、事業化を目指す「民間提案制度」を試行



産学官連携によるDXの推進

- **サービス連携プラットフォーム利活用推進事業** (4,842万円)
県民向けスマートフォンアプリやサービスとの連携の拡充、地域通貨の協力店舗を開拓
- **電子処方箋の活用・普及促進事業** (1億960万円)
県内医療機関、薬局における電子処方箋管理サービスの導入支援
- **農業DX推進事業** (6,611万円)
デジタル技術を活用した効率の高い営農(スマート農業等)の取組みへの支援
- **運転免許DX化事業** (5,785万円)
運転免許証とマイナンバーカードの一体化やオンライン更新時講習への対応
- **「データ連携基盤」利活用推進事業** (3,980万円)
国や県、市町村が保有する防災データを一元化するデジタル防災マップの提供





農林水産業の振興 公共交通への投資・参画 持続可能な地域づくり

■ 「富富富」生産振興対策事業 (8,240万円)

栽培指導や種子の増産、乾燥調製施設の改修を支援

■ 農業研修体制強化事業 (5,930万円)

とやま農業未来カレッジの定員拡充や令和7年度の園芸経営実践コース(仮称)の開講に向けた体制整備



■ 城端線・氷見線再構築事業 (4億1,200万円)

再構築実施計画に基づき、城端線・氷見線のICカード対応改札機等の整備を支援

■ 鳥獣対策の推進

- 市町村のクマ対策への支援拡充など 3,050万円
- 農作物被害の防止のため、ICTを活用した捕獲実証等を推進 2億9,148万円



SDGsの推進 多様な人材の活躍 スポーツ・文化の振興

■ デコ活参加促進キャンペーン (1,000万円)

脱炭素につながる豊かな新しい暮らしを創る国民運動「デコ活」の周知・拡大

■ とやま動物愛護センター(仮称)整備 (1,830万円)

整備・運営の基本計画の策定、民間活力の導入可能性を調査



■ 文化・スポーツ施設の予約システム導入 (1,680万円)

市町村との共同調達により県内の文化・スポーツ施設の予約システムを導入し、利便性を向上

■ 四館連携推進事業 (2,200万円)

県美術館・水墨美術館・立山博物館・高志の国文学館の四館連携によるデジタルスタンプラリー等



観光振興など選ばれる県づくり

■ 関西圏情報発信拠点魅力発信 (6,550万円)

北陸三県共同で開設する関西圏情報発信拠点において、物販や観光情報の発信などを実施

■ 黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放・旅行商品化

- 旅行者の満足度を高める取組みを支援 2,200万円
- 記念イベントや開業気運を高めるプロモーションの展開 2,250万円



写真提供：佐藤工業

■ 大阪・関西万博出展事業 (1,900万円)

万博への出展に向けた実施計画の策定

■ 「寿司といえば、富山」ブランディング推進

- 寿司店と若手職人とのマッチング支援 500万円
- 県民家庭の日に合わせた情報発信など 2,900万円

令和6年元旦、能登半島地震が発生し、県内でも多数の被害が発生しました。いざという時に備え、日頃から防災対策を行いましょう。

1 家具の固定

タンス、食器棚、テレビ等を固定しましょう。出入り口には転倒しやすい家具を置かず、また寝室や子供部屋に家具を置く場合は、背の低い家具にしましょう。



手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを用意！

ホイッスルは、救助を求めるために役立ちます。



2 備蓄品、非常持ち出し品の整理

- 食料** 最低3日分、できれば1週間分
(水は1日あたり3L、食料は2,000kcalが目安)
- 燃料** 卓上コンロ、固形燃料等
- その他** 簡易トイレ、毛布、おむつなど、
家族構成に合わせて準備

3 安否確認方法、集合場所を確認

大災害時は回線の混雑が予想されます。安否確認サービスもご活用ください。

災害用伝言ダイヤル

(毎月1日、15日は体験利用可!)
電話から「171」に発信すると、
最大30秒伝言を録音・確認可能

昭和56年5月以前に着工した戸建て木造住宅の耐震化を支援しています!

県が耐震化診断の**9割**を負担
・自己負担額は約2000~6000円

耐震性が
不十分な時

耐震改修に最大**100万円**まで補助
・部分的・簡易的でも可能
・耐震改修設計に補助する市町村も有

◎防災に関するお問合せ: 県防災・危機管理課

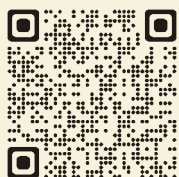
TEL:076-444-3187

◎耐震化に関するお問合せ: 県建築住宅課

TEL:076-444-3356

防災

に関して▶



耐震化

に関して▶



富山防災

WEB▶



とやま 味わいレシピ



よもぎ団子

古くからよく食べられてきたよもぎ。春のよもぎは葉も柔らかく、特有の風味があり、団子にすると味わいひとしお。懐かしい素朴な和のスイーツです。

<協力>氷見市食生活改善推進協議会

①よもぎはよく洗い、重曹を入れた熱湯で5~6分茹でる。冷水にとりよく水気を絞った後、細かく刻む。②ボウルに餅粉、水、①を入れ、耳たぶくらいのかたさになるまでよく練り混ぜる。食べやすい大きさに丸めて中央をへこませる。③熱湯で②を茹でる。団子が浮き上がって1分ほどたったら冷水にとる。④器に団子とあんこを盛り、出来上がり。

【材料・分量(12個 4人分)】 1人分/205kcal

よもぎ(春菊の葉でも可)…60g、重曹…適量、餅粉…160g、水…120ml、あんこ…100g



富山県では、健康寿命日本一を目指しています。健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。



越中とやま 食の王国
Toyama Food Kingdom

富山のおいしいを発見。富山県の食文化を伝える公式サイト。「越中とやま 食の王国」



県内おでかけ情報

水墨美術館

高校生以下無料 各種障がい者手帳をお持ちの方無料

富山市五福777 TEL.076-431-3719



川端龍子展

川端龍子は、横山大観・川合玉堂とともに近代日本画の三大巨匠のひとりに数えられる画家です。本展では、龍子が生涯を通してどのような日本画を追い求めたのか、そして明治・大正・昭和という激動の時代において、異彩を放った龍子の魅力に迫ります。



期間 開催中～5月26日(日)
時間 9:30～18:00
(入室は17:30まで)

休館日 月曜日(4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)

料金 一般900円(700円)、大学生450円(350円)

料金欄の()内は20名以上の団体料金

高志の国文学館

高校生以下無料 各種障がい者手帳をお持ちの方無料

富山市舟橋南町2番22号 TEL.076-431-5492



堀辰雄生誕120年展 “風立ちぬ”堀辰雄と軽井沢の文学者たち

愛と青春、生と死などのテーマに挑み、『美しい村』『風立ちぬ』などの作品を残した堀辰雄。本展では、清新で詩心にあふれる堀の作風確立の過程と、作品世界を貴重な資料でたどります。併せて、堀や軽井沢とも関わり深い「芥川龍之介宛片山廣子書簡」を特別公開します。



期間 開催中～6月3日(月)

時間 9:30～18:00
(観覧受付は17:30まで)

休館日 火曜日

料金 一般500円(400円)、大学生250円(200円)

料金欄の()内は20名以上の団体料金



開催状況など最新の情報は、
ホームページをご確認ください。



クイズ

○の中に言葉を入れてください。

R6予算は、未来へ向けた「〇づくり」と
「新しい社会経済システム」の構築に重点的に取り組みます！

ヒント：漢字1文字です。

はがき応募：①～⑧の項目を全て記載のうえ、下記宛先まで。応募は1人1回までとし、当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥年齢、⑦特に興味を持ったコーナー名⑧本紙の感想

※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先／〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」 締切／4月30日(火)必着

◎前回(1月号)の答え…「まんなか」 応募総数1,520通

正解者数1,509通 たくさんのご応募ありがとうございました。



正解者の中から
15名の方に
プレゼント！
べつばら富山
薄氷本舗五郎丸屋
T五(ティーゴ)



WEBでのご応募はこちら▲

県政やイベントの
情報などを
発信しています。



(旧Twitter)
富山県



富山県公式
[toyama_next]



富山県



富山県公式
チャンネル



note

富山県
公式note



二次元コードは、
携帯のカメラで読み取れます

県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478



E-mailは左記のお問い合わせ
フォームよりお送りください



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けするほか、県の各施設や市役所・町村役場、図書館のほかコンビニエンスストア(一部)でも配布しています。また、本号とバックナンバーは県のホームページで閲覧できます。◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。上記までお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

県広報とやま